

元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

「あ、みえし、て、や、ぼり、
すごいですね。」

第27話 R02.07.14(火)
「あなたの声はきっと
誰かに届いている。」

★今回、紹介する本は、『52ヘルツのクジラたち』
(著/町田そのこ、出版/中央公論新社)です。

『流浪の月』で本屋大賞をとった尻良ゆうさんの推
薦コメントもすばらしい、町田そのこさんの初長編
小説。「児童虐待」という重いテーマを扱いながら、
一つ一つの命の美しさを描いている作品です。

「52ヘルツのクジラ」とは、他のクジラには聞こ
えない周波数でしか鳴けない孤独なクジラのこと。

52ヘルツのクジラのように孤独で壮絶な過去を
もつ女性・貴湖。貴湖は、ある日、母親から虐待さ
れ、「ムシ」と呼ばれる少年に出会いますー。

貴湖が、少年と出会うことで、自分自身のつらい
過去と向き合い、新しい一歩を踏み出そうとしてい
く過程が丁寧に描かれています。つらさとともに、同時に存在するあたたかさに胸を
打たれます。人と人がつながることの難しさと愛おしさが伝わってくる1冊です。



漢字にけろころりかぶつって、るのもよいてすね。

